

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 全産業活動指数(2010年9月)
 ~2ヶ月連続の前月比マイナス~

発表日2010年11月19日(金)

第一生命経済研究所 経済調査部
 担当 エコノミスト 小杉 晃子
 TEL : 03-5221-4548

(単位:%)

		全産業活動指数											
		前期比		前年比		第3次産業活動指数		鉱工業生産指数		公務等活動指数		建設業活動指数	
09	1-3月	▲ 6.3	▲ 11.1	▲ 3.1	▲ 6.6	▲ 20.0	▲ 34.6	0.2	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 1.1		
	4-6月	1.1	▲ 9.3	▲ 0.6	▲ 6.1	6.5	▲ 27.4	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 2.0	0.1		
	7-9月	1.1	▲ 7.0	0.6	▲ 4.7	5.3	▲ 19.4	0.1	0.7	▲ 6.2	▲ 6.4		
	10-12月	0.1	▲ 3.7	▲ 0.3	▲ 3.4	5.9	▲ 4.3	0.0	▲ 0.1	▲ 5.3	▲ 13.5		
10	1-3月	1.4	3.7	1.1	0.7	7.0	27.5	▲ 0.8	▲ 0.8	0.7	▲ 12.2		
	4-6月	0.8	3.4	▲ 0.1	1.3	1.5	21.0	▲ 0.7	▲ 1.4	▲ 0.8	▲ 11.3		
	7-9月	0.6	3.1	1.0	1.9	▲ 1.8	13.5	▲ 0.1	▲ 1.6	2.4	▲ 3.2		
09	1月	▲ 1.3	▲ 9.0	▲ 0.1	▲ 4.5	▲ 8.4	▲ 30.9	▲ 0.2	▲ 1.0	▲ 0.7	▲ 1.5		
	2月	▲ 3.7	▲ 12.5	▲ 0.7	▲ 7.4	▲ 8.6	▲ 38.6	0.3	0.8	▲ 0.1	▲ 1.1		
	3月	▲ 1.0	▲ 11.7	▲ 3.4	▲ 7.7	2.2	▲ 33.8	0.2	▲ 0.8	▲ 0.5	▲ 0.9		
	4月	2.4	▲ 10.0	2.0	▲ 6.2	4.5	▲ 31.0	▲ 0.6	▲ 0.9	0.2	0.9		
	5月	0.9	▲ 10.0	▲ 0.2	▲ 7.1	4.6	▲ 29.0	0.5	1.2	▲ 1.6	1.0		
	6月	0.3	▲ 7.9	0.2	▲ 5.1	1.5	▲ 22.5	▲ 0.3	▲ 0.8	▲ 2.5	▲ 1.3		
	7月	0.5	▲ 8.0	0.5	▲ 5.3	1.1	▲ 22.3	0.2	0.6	▲ 2.5	▲ 3.5		
	8月	0.0	▲ 6.3	0.2	▲ 4.1	1.5	▲ 18.3	▲ 0.2	0.4	▲ 1.5	▲ 6.5		
	9月	0.1	▲ 6.7	▲ 0.3	▲ 4.7	1.8	▲ 17.5	0.1	1.3	▲ 1.9	▲ 8.8		
	10月	0.2	▲ 6.1	0.2	▲ 4.4	1.5	▲ 14.4	▲ 0.2	0.5	▲ 1.0	▲ 10.5		
	11月	▲ 0.2	▲ 3.3	▲ 0.2	▲ 3.0	2.6	▲ 2.9	0.2	▲ 0.5	▲ 3.6	▲ 14.5		
	12月	▲ 0.3	▲ 1.6	▲ 0.7	▲ 2.7	2.6	6.4	0.2	0.3	▲ 0.4	▲ 15.3		
10	1月	3.4	1.9	2.9	▲ 0.1	4.3	18.9	▲ 1.3	▲ 0.3	0.7	▲ 13.9		
	2月	▲ 2.2	4.2	▲ 0.5	0.6	▲ 0.6	31.3	0.5	▲ 0.6	4.3	▲ 10.0		
	3月	▲ 0.6	5.0	▲ 2.6	1.8	1.2	31.8	0.0	▲ 1.5	▲ 4.0	▲ 13.0		
	4月	1.9	4.0	2.4	1.8	1.3	25.9	▲ 0.8	▲ 1.1	▲ 4.4	▲ 17.0		
	5月	0.0	3.1	▲ 0.9	1.1	0.1	20.4	▲ 0.1	▲ 1.7	9.2	▲ 8.1		
	6月	0.2	3.0	0.2	1.0	▲ 1.1	17.3	0.0	▲ 1.4	▲ 2.7	▲ 8.3		
	7月	0.9	3.0	1.4	1.5	▲ 0.2	14.2	▲ 0.1	▲ 1.0	0.8	▲ 5.3		
	8月	▲ 0.2	3.7	0.1	2.5	▲ 0.5	15.1	0.1	▲ 2.1	2.2	▲ 1.7		
	9月	▲ 0.8	2.6	▲ 0.9	1.5	▲ 1.6	11.5	▲ 0.2	▲ 1.9	▲ 2.7	▲ 2.7		

(出所) 経済産業省「全産業活動指数」

○ 全産業活動指数：前月比▲0.8%

9月の全産業活動指数は前月比▲0.8%と、コンセンサス（同：▲0.6%、レンジ：同▲0.9%~0.0%）を下回った。鉱工業生産指数や第3次産業活動指数が悪化したことなどから、全産業活動指数は2ヶ月連続のマイナスとなった。

内訳にみても、第3次産業活動指数（前月比寄与度：▲0.60%ポイント）をはじめ、鉱工業生産指数（同：▲0.29%ポイント）、建設業活動指数（同：▲0.13%ポイント）、公務等活動指数（同：▲0.02%ポイント）と、すべての産業で低下している。

四半期ベースでは、7-9月期は前期比+0.6%と、エコカー補助金制度終了を前にした駆け込み需要の影響などからプラスとなった。だが、足もとの駆け込み需要の反動が出ていることに加え、世界経済の減速に伴う輸出・生産の減速などを背景に、10-12月期の全産業活動指数は悪化が予想される。

○ 鉱工業生産指数、第3次産業活動指数ともに悪化

個別にみると、鉱工業生産指数は、前月比▲1.6%（前月同▲0.5%）と4ヶ月連続のマイナスとなった。業種別では、在庫調整などの影響で電気機械、情報通信機械、電子部品・デバイスなどといったIT関連財の落ち込みが大きかった。世界経済の減速を受けた輸出の鈍化や在庫復元効果の一巡などを受けて、足もとの生産は減速傾向にある。

その上第3次産業活動指数も、9月上旬のエコカー購入補助金打ち切りに伴う自動車小売業の悪化を主因として、消費関連業種を中心に家計部門の活動が低下したことに加え、輸出・生産の減速やソフトウェア受注の減少などによって企業部門もマイナスに寄与した。その結果、全体では前月比▲0.9%(前月同+0.1%)と4ヶ月ぶりにマイナスに転じた。

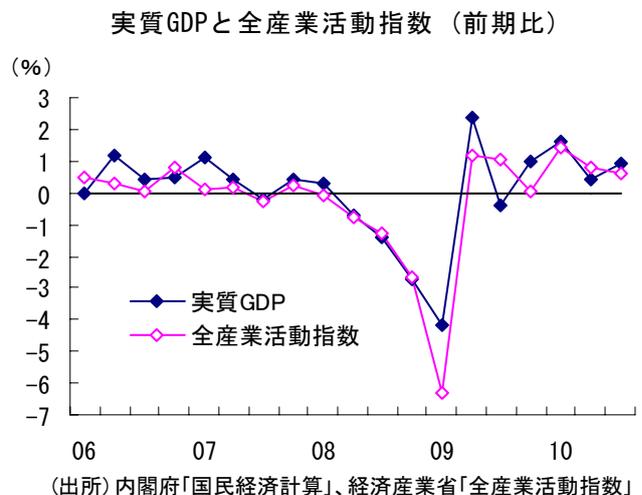
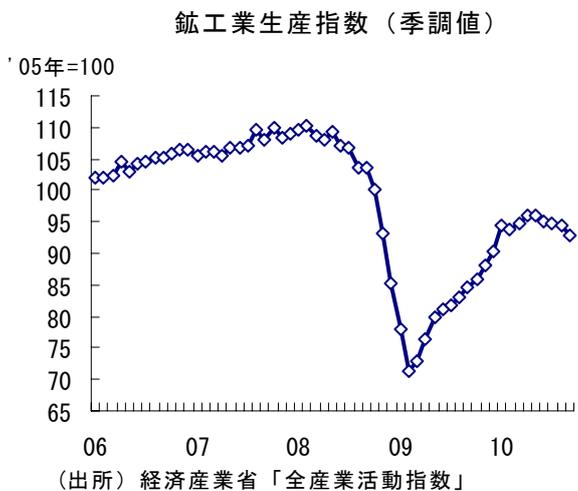
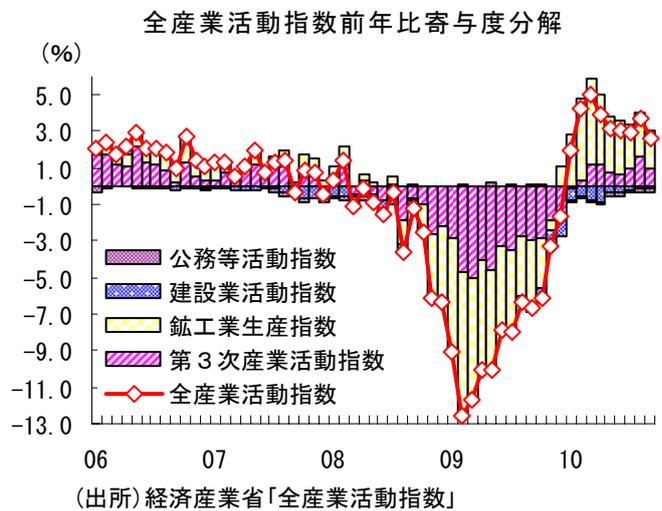
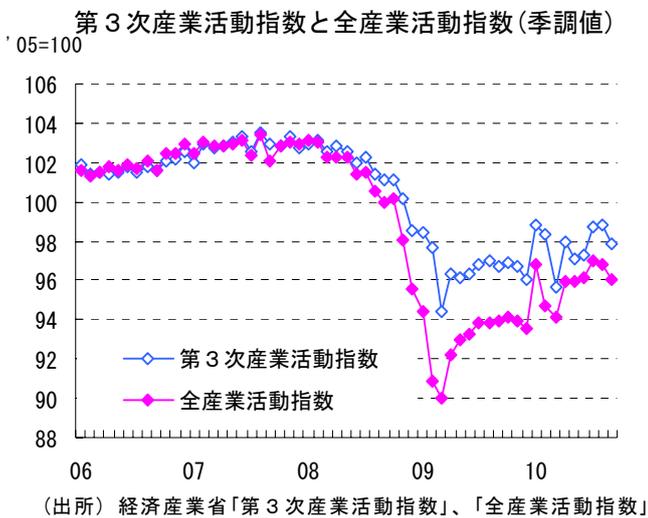
さらに、建設業活動指数も、前月比▲2.7%(前月同+2.2%)と3ヶ月ぶりのマイナスとなった。内訳別にみても、民間・建設・土木活動指数が前月比▲0.9%(前月同+2.4%)、公共・建設・土木活動指数が同▲6.0%(前月同+1.1%)と、ともに悪化している。公共投資の減少などが影響していると考えられる。

○ 先行き景気減速に伴って回復力に乏しい動きが続く見通し

全産業活動指数の先行きを展望すると、まず鉱工業生産指数については、今後も減速傾向が継続しよう。予測指数を前提においても、10-12月期は大幅な減産が見込まれており、先行き海外経済の減速による輸出の鈍化やエコカー補助金終了に伴う自動車生産の大幅減、IT部門の在庫調整などに伴って、生産は抑制される可能性が高い。

また、第3次産業活動指数も、今後は駆け込み需要の反動による自動車やたばこ販売の大幅減などを背景とした個人消費の落ち込みが見込まれるため、弱い動きとなろう。

以上を踏まえると、先行き全産業活動指数は、景気減速に伴って回復力に乏しい動きが続くと予想される。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。